



# 三原中だより

令和3年度 第6号  
発行 令和3年 10月 21日  
八丈町立三原中学校



## 『 陸上競技記録会に思う 』



校長 大澤 道明

東京都では、新型コロナウイルス感染者が2桁まで減り、飲食店や旅行等での制限も少しずつ緩和されてきました。しかし専門家からは、「第6波の感染拡大とインフルエンザ感染者の増大が心配される。」との報道がありました。コロナ感染対策としてのマスク着用や手消毒等の徹底が功を奏し、昨年から今年に掛けてのインフルエンザ患者は激減したと考えられていますが、奇しくも今年は、インフルエンザウイルスへの免疫力が弱まっていると言われていています。コロナワクチン3回目の接種が推奨され、インフルエンザ予防接種と同時期での接種も考えられます。心配なのは、インフルエンザワクチンの供給量が少なく、希望者全体の接種分が確保できるのかという問題です。なかなか事はうまく運ばないものですが、何とかしていただきたいと心から願うばかりです。

さて、10月3日(日)に三原中で、「八丈管内中学校陸上競技記録会」が開催されました。本来であれば10月2日(土)に実施予定でしたが、前日は台風16号の影響で島内全校が臨時休校となり、2日のグラウンド状態も良くなかったため順延としました。1日順延した実施当日は天候も良く、絶好のコンディションの中で、各校の生徒たちの躍動をお届けすることができたのではないかと思います。本校、3年男子の選手宣誓は圧巻でした。残念だったのは、日程の関係で青ヶ島中が参加できなかったことです。

今回は、私が中学生の時の記録会の一場面を回想したいと思います。

椋立小学校在学時、6年生になっても同級生の女の子(A保育園の元園長先生)に短距離走で勝てなかった。とても悔しかった。中学生になったら絶対に負けない!そんなことを考えたことを思い出す。当時は生徒数が多く、記録会の各種目とも高い標準記録を設定していた。そのため、現在のような全員参加形式ではなく、全ての個人種目は選抜選手としての参加だった。またスパイクも履いていた。中学生になりライバルは他校の生徒に変わった。F中に、ものすごく速い生徒が2人いたのだ。記録会の100m走では1年、2年と勝てなかった。だが、走り幅跳びだけは3年間負けなかった。私は3年生になって100m走への参加を取りやめた。逃げたわけではないが・・・100mハードル走が新設されたからだ。大会前、毎日のように練習を重ね、大会3日前には14秒前半で走れるようになったので自信もあった。S中にハードルに懸けていたライバルがいたが、当日は体調も良く勝てるイメージしかなかった。いよいよスタート。あっ!やばい出遅れた!!焦るな俺、まだスタートしたばかり挽回できる。練習での成果が表れ始め、第8ハードルで追いつき、第9ハードルでは体一つ抜け出した。「よし勝った!」と思った最終ハードル。悪夢が待っていた。振り抜き足がハードルに掛かりバランスを崩したままゴール。結果は2位。慢心かそれとも運命なのか・・・落ち込んだまま一日が終わった。これもまた人生さと自分を慰めた。

ある保護者の方に、「なぜ土曜日開催で計画したのか。」と質問されました。それはグラウンドを共有している小学校の授業のためで、前回の三原中会場の時、順延した関係で三原小学校の授業に影響を与えてしまったことから予備日を日曜日として計画しました。ご理解をお願いいたします。

### 〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

【新しくなりました】三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-tyky.ed.jp/mihara-jhs/>



## 生徒会役員選挙

9月30日(木)に生徒会役員選挙・立会演説会が行われました。今回は1年生1名、2年生3名が各役職に立候補し、たすき作成やポスター、給食の演説等の選挙活動を行いました。立会演説会では、立候補者が応援者とともに学校生活をより良いものにするためにそれぞれの思いを述べました。結果、全立候補者が当選しました。

選挙を運営するにあたり、選挙管理委員会が準備・運営などを進めてくれました。それぞれが自分の役割を全うし生徒会役員選挙・立会演説会を円滑に行うことができました。

今回の役員選挙で選出された新しい本部役員を中心に、よりよい三原中学校となっていくことを期待しています。

【生徒会担当】



## 1年校外学習

9月22日(水)に1年校外学習を実施しました。今回のテーマは1学期に引き続き「八丈島の歴史と文化を理解する」です。

前半は為朝神社近くの「旧陸軍司令部壕跡」の見学でした。急坂を歩いて登り一苦労でしたが、壕の中には掘った際にできた「ツルハシの跡」や、土砂を搬出するために使われた「トロッコの枕木の跡」などがあり、当時の様子を臨場感をもって感じることができました。生徒たちは神妙な面持ちでした。当時、この壕に潜み持久戦を計画していた日本軍。壕の見学を通して、その状況を学ぶことができました。

後半は、学校に戻り講義形式で、「人が住み始めた頃の八丈島」や「流人」について学習しました。教育委員会の先生が、7000年前の人々が食べていたと思われる植物まで持参され、丁寧にお話をしてくださいました。八丈島を知る良いきっかけになったと思います。この学びを今後の事後学習で深めていきましょう。

【1学年】



# 陸上競技記録会

台風の影響により1日順延となりましたが、台風一過の秋晴れの下、10月3日(日)に第61回八丈管内陸上競技記録会が、三原中学校を会場として行われました。

会場校ということもあり、本校の生徒の気迫あふれる選手宣誓から始まりました。他校に比べて少ない生徒数の中でも、一人一人が懸命に競技する姿や仲間への応援の声、1位をとった種目が7種目など、三原中の存在感を強く感じる大会となりました。

昨年に引き続き記録会に向けて青ヶ島中学校とビデオレターの交換等を行いました。残念ながら青ヶ島中は台風の影響を受け、来島することができませんでした。会場設営を予定していた10月1日(金)が台風により臨時休校となったため、急きょ10月2日(土)を授業日として、生徒と教員で会場設営をしました。会場設営には、富士中学校・大賀郷中学校の先生方に多数駆けつけていただき、短時間で準備することができました。また、当日の朝には、保護者の方々が最終的な会場設営を手伝っていただきました。多くの方々に支えられて、無事に開催することができました。

生徒たちは本大会を通じていろいろなものを見て学び、大きな成長につながったと思います。本大会に携わったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【保健体育科】



## 職業講話



10月9日(土)に、職業講話を行いました。今年度はリードホテル&リゾート株式会社 代表取締役の歌川真哉様からお話をいただきました。歌川様の仕事に対する考えや、八丈島に対する思いを聞くことを通して、生徒たちの「仕事」に対する意識も高まったようです。生徒たちの感想からは、仕事の楽しさ、経営の大変さ、人との関わり方等、多くのことを学んだ様子がみてとれました。歌川様、貴重なお時間をありがとうございました。

### 〈生徒の感想より〉

- 「アイデア自体に価値はない。形にして初めて価値が生まれる。」という言葉がすごく素敵だと思いました。実行しなければ何も始まらないので、実行することの大切さを学びました。
- 若いときから将来を考えることが重要という話や、自分で会社を立ち上げる時は、倒産の危機に何度あっても折れない気持ちが大事ということなど将来に役立つ話を聞けてとてもいい経験になりました。失敗を生かして学ぶことを考えていきたいと思います。
- 仕事の中で大切なことは、新しいことにチャレンジしたり、粘り強く生き残る事だと思っています。今回のお話でも、生き残ることの大切さが話されていました。起業して自分が企業の方針を決めるという責任の重い立場でも、過去の経験などを生かして切り抜ける事ができるようになりたいです。

【進路学習指導主任】

### ＜11月の主な行事予定＞

日	月	火	水	木	金	土
10月31日	1日 朝礼 安全指導 東京都教育の日 島しょ研修会	2日 [SC] 島しょ研修会	3日 文化の日	4日 避難訓練	5日	6日 土曜授業 学校公開終 進路説明会
7日 英検二次	8日 [SC] 朝礼(壮行会) 抽出面談(3)	9日 抽出面談(3)	10日 心の教育 職員会議 社協学習教室	11日 期末考査1週 間前 考査前補習	12日 考査前補習	13日 都駅伝大会
14日	15日 考査前補習	16日 [SC] 考査前補習	17日 町教研一斉部会	18日 期末考査	19日 期末考査	20日 期末考査
21日	22日 朝礼 復習確認テスト 学校評議員会	23日 勤労感謝の日 檜立庁祭り	24日 職員会議 社協学習教室	25日 専門委員会	26日 オリ・パラの日	27日
28日 中之郷庁祭り	29日 朝のつどい	30日 [SC] 修学旅行前健診	12月1日 職員会議	2日 避難訓練	3日	4日

[SC]: スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談ください。(学校7-0057)

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈町教育相談室(2-0591)

☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)